

火災ない年末年始を 特別警戒防火指導を実施

年末年始消防特別警戒の一環とした防火指導は12月24日、イオンタウン佐沼で行われ、市民に防火意識の向上を呼び掛けました。

年末年始の防火指導は、火を取り扱うことが多く、火災発生危険性が高まる時季であることから、市消防本部で毎年実施。当日は、熊谷市長と消防団、婦人防火クラブなど消防関係者ら18人が「年末年始消防特別警戒中です。火の用心をお願いします」と声掛けをしました。両親と訪れた赤間椿さん(9)＝豊里町下町＝は「火事を出さないよう、ヒーターの前に物を置きません。火の取り扱いに気を付けます」と注意を誓いました。



消防関係者やマスコットキャラクター消太くんが、注意喚起のリーフレットなどを配り、火の用心を呼び掛けました。

伝統野菜の良さ知る 東和地区で伝統野菜給食

市東部東和学校給食センターは11月30日、東和地区の4小中学校の給食で、伝統野菜の「よめごささげ」を提供しました。

よめごささげは、1匁ほどの赤い豆で、昔は汁の具として食べられていましたが、食習慣の変化により、生産農家が減少。現在は、10戸ほどの農家が生産するにとどまっています。給食では、東和町米川の鎌田大地さんが生産したものを、甘い煮豆にし蒸しパンに加工。授業で伝統野菜について学んだ米谷小6年の及川瑠奈さんは「甘くておいしい。多くの人たちに、登米市の伝統野菜を知ってほしいです」と話していました。



おいしそうに蒸しパンを食べる児童ら。児童らの発案で実施された伝統野菜の給食化に、みんな満足げでした。

安全安心に向け決意 指導隊など出初式を開催

交通安全指導隊(佐藤養一隊長)、防犯指導隊(須藤健治隊長)と市消防団(佐々木敏朗団長)は、平成30年の出初式をそれぞれ実施しました。

交通安全指導隊と防犯指導隊は1月6日、中田総合体育館でそれぞれ実施。新年に当たり、市民の安全安心を守る思いを新たにしていました。

消防団の出初式は1月7日、市消防防災センターで実施。消防団員約千人が九つの支団ごとに隊列を組み、登米祝祭劇場から防災センターまで力強く行進しました。消防ポンプ車を使った放水訓練や消防訓練なども披露されました。



火災や特殊詐欺などの犯罪、飲酒運転や交通死亡事故ゼロに向けて、関係機関と連携し活動していくことを誓いました。

全国のはっと味競う 中江公園ではっとフェス

第14回「日本一はっとフェスティバル」(実行委主催)は12月3日、迫中江中央公園で開かれ、市内外から過去最高の約2万9千人が訪れました。

福岡県篠栗町など、全国からわがまちの自慢の「はっと」を提供する33店舗が出店。来場者らは、創意工夫された味に舌鼓を打ちました。購入者の割りばし投票で決まる「はっと大賞」には、本市のチャチャワールドいしこしの「牛すじはっと」が選ばれました。岩手県一関市から訪れた森本綾菜さんは「4年連続で来ています。カキはっとがお気に入りです。毎回食べています。カレーのもおいしそうですね」とほほを緩めていました。



県内だけではなく、山形県や岐阜県などからも出店。登米市では味わえない珍しい「はっと」が多数並びました。

女性の時代を映す鏡 記念館で女子コミック展

第57回特別企画展「ガールズコミックヒストリー展」は10月28日から、石ノ森章太郎ふるさと記念館で開かれています。

ガールズコミックヒストリー展は「少女マンガは女性の時代を映す鏡」という視点で、日本の少女マンガ・女性マンガ界を牽引してきた手塚治虫氏、石ノ森章太郎氏や里中満智子氏など、9人の作品の原画など約100点を展示。岩手県奥州市から訪れた千葉勝彦さん(61)は「年に1、2回来館します。幼い頃、手塚治虫などが描いた少女マンガを読んでいたのが、すごく懐かしい」と笑顔を見せていました。期間は1月28日まで。



作品は、1950年代、70年代、90年代から現代までの3部構成。石ノ森氏が描いた美女10人の等身大パネルも展示されています。

魅力ある地域目指し 南方で地域づくり発表会

「地域づくり事業事例発表会」は12月10日、市役所南方庁舎で開かれ、市内コミュニティ組織、市民活動団体関係者や市民など約100人が参加し、より良い地域づくりに向けた取り組みなどを学びました。

事例発表会は、米川、石森、石越、東郷の4コミュニティ組織が、それぞれの地域づくりや事業の取り組み状況などを発表。参加者らは、活動の手法や地域との関わり方などを学び、課題や問題点などの情報交換をしました。佐沼地区コミュニティ推進協議会の三浦智さん(44)は「この発表会で学んだことを、地域に持ち帰り実践したい」と意気込んでいました。



発表者はスライドなどを使い、効果的に発表。石森地区は、地域の買い物事情の課題や対策などを紹介しました。